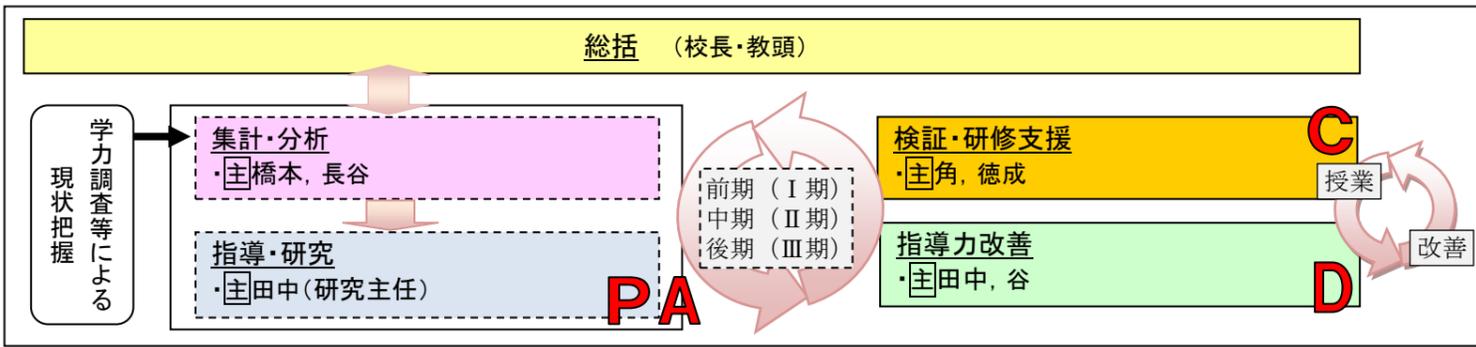


# 令和5年度 珠洲市立蛸島小学校 学力向上ロードマップ

研究主題

主体的に学び、自分の考えを筋道立てて表現する力の育成を目指して



目指す児童生徒像  
相手の意見と比べながら、主体的に学び、筋道立てた表現をする子

前年度後期(Ⅲ期)プランの検証⇒分析

月	行事等	1 総括	2 集計・分析	3 指導・研究	4 指導力改善	5 検証・研修支援
		校長・教頭	橋本 長谷	研究主任	田中 谷	角 徳成
4	県基礎学力調査実施 国学力調査実施	年間のゴールの姿 相手に伝わるように、 根拠や理由を明確にして 自分で考えを表現 することができる。	理由や意見などの条件 や目的に応じて正しく 表現できる。(R4 検証 問題69%)→根拠や理 由を明確にした表現が できていない。	研究推進委員会 ・年間のゴールの姿設定 校内研修会 ・校内研究共通理解 ・具体的取組の確認 ・校内掲示	目指す児童像の確認	
5	学力向上推進研修		学力調査自校採点・分 析(5月1日) 検証問題分析 (5月31日)	校内研修会 ・ノート指導 ・指導案の書き方、参観シートの確認 ・授業整理会での共通理解	・根拠に線やしるしをつける ・学びを深める問い返しをする ◇相手を見て話を聞かせる	授業参観シート(19日) 授業評価表(30日) 児童アンケート(30日) 検証テスト(31日)
6			学期末検証問題分析 (7月19日)	校内研修会 ・授業整理会での共通理解 ・検証問題の確認 ・取組の確認	・根拠に線やしるしをつける ・学びを深める問い返しをする ◇相手を見て話を聞かせる ・田中教諭研究授業(8日)	授業参観シート(16日) 授業評価表(30日)
7			学力調査分析 (8月30日)	校内研修会 ・前期(I期)取組の振り返り	・根拠に線やしるしをつける ・学びを深める問い返しをする ◇相手を見て話を聞かせる ・橋本教諭研究授業(3日)	授業評価表(14日) 児童アンケート(18日) 検証テスト(19日) 教師アンケート(24日)
8		年間のゴールの姿 相手に伝わるように、 根拠や理由を明確にし て自分で考えを表現す ることができる。	話し合いを通じて、考えを深 めたり、広げたりできる。(R5 質問紙36強肯定33%) →相手の意見・考えの理解 が不十分で、質問や意見を 伝えられない児童がいる。	研究推進委員会 ・年間のゴールの姿、取組の見直し 校内研修会 ・中期(II期)取組の共通理解		
9			検証問題分析 (10月31日)	校内研修会 ・対話や問い返しについての共通理解	・対話の視点を示し、質問・意見を述べる ・学びを深める問い返しをする ◇相手の考えに、質問や意見感想を言う	授業評価表(29日)
10	学力向上フォーラム		採点集計・分析 ・自校誤答分析(8日) ・経年比較(8日) ・クロス集計等(8日) ・指標問題分析(8日) 課題発見・原因究明	校内研修会 ・授業整理会での共通理解	・対話の視点を示し、質問・意見を述べる ・学びを深める問い返しをする ◇相手の考えに、質問や意見感想を言う ・角教諭研究授業(5日)	授業参観シート(5日) 授業評価表(31日) 児童アンケート(31日) 検証テスト(31日)
11	評価問題実施		学期末検証問題分析 12月15日	校内研修会 ・中期(II期)取組の振り返り ・学力調査等の分析	・対話の視点を示し、質問・意見を述べる ・学びを深める問い返しをする ◇相手の考えに、質問や意見感想を言う	授業参観シート(28日) 授業評価表(30日)
12		年間のゴールの姿				授業評価表(14日) 児童アンケート(18日) 検証テスト(15日) 教師アンケート(20日)
1			成果と課題の分析 成果の原因の特定 課題の原因の特定 次年度数値目標	研究推進委員会 ・年間のゴールの姿、取組の見直し 校内研修会 ・後期(II期)取組の共通理解	・授業の具体的取組 ◇基盤の具体的取組 ・徳成講師研究授業(24日)	授業参観シート(24日) 授業評価表(30日)
2	学力向上推進研修		学期末検証問題分析 2月29日	校内研修会 ・授業整理会での共通理解	・授業の具体的取組 ◇基盤の具体的取組 ・谷講師研究授業(14日)	授業参観シート(14日) 授業評価表(29日) 学期末検証問題(29日)
3		次年度 年間のゴールの姿		校内研修会 ・後期(III期)取組と今年度の取組の 振り返り 研究推進委員会 ・次年度の方向性について	学校研究総括 成果と課題の共有	

※行事等には、県基礎学力調査、全国学力・学習状況調査、市町や学校で行われる学力調査等を位置付け、現状把握や成果・課題の分析に活用する。

※「奥能登ハンドブックー学力向上に向けた取組のポイントー」P1. ○学力向上ロードマップとプランの活用に向けて [1]参照。